

会長挨拶



宮城県交通安全母の会連合会
会長 佐々木 和恵

はじめに、宮城県交通安全母の会連合会会員皆様におかれましてはお健やかに
お過ごしのこととお喜び申し上げます。

今年度も、コロナ禍やインフルエンザの流行する厳しい状況の中、「交通安全は茶の間から」をスローガンに年間を通して活発な活動を展開していただきましたことに、衷心より厚く御礼申し上げます。

平素から、県警の交通各課、交通安全協会、地域の警察署、県地域交通政策課の職員の皆様から御指導を賜り、総会をはじめ、高齢者交通安全教育指導者研修会やリーダー研修会にも積極的に参加し研修を深めていただきましたことに心から感謝申し上げます。

さて、県内の交通情勢については、人身事故の件数としては前年に比べ減少傾向にありますが、死者数は大幅に増加しており、そのうち高齢者の死亡事故が依然として高い割合で推移しており、併せて飲酒運転も根絶には至っていない厳しい状況にあります。

つきましては、今年度も高齢者の世帯訪問を通して交通マナーの徹底と反射材用品を身に着け、「自分の身は自分で守る」という意識を高める啓発活動と飲酒運転の根絶に力を入れていただき、交通事故のない安全で安心な地域社会の実現を目指し粘り強く「継続は力なり」を合言葉に活動を進めていただきますようお願い申し上げます。

結びに、会員皆様の益々の御健勝と御活躍を心から御祈念申し上げまして、挨拶といたします。

宮城県知事表彰受賞者紹介(敬称略)

多年にわたる母の会の活動をはじめ交通安全活動への多大な貢献により知事から表彰されました。

交通安全功労者等表彰

[交通安全功労者]

千葉 知子 (塩竈市) 大場 みどり (多賀城市)
藤島 春子 (岩沼市) 村上 トシエ (大河原町)
土井 いく子 (松島町)



宮城県交通安全母の会連合会長表彰 受賞者紹介(敬称略)

多年にわたり、母の会の活動に従事し、交通事故防止活動に貢献された方が母の会連合会長から表彰されました。

千葉 知子 (塩竈市) 三浦 藤子 (多賀城市)
中村 多喜子 (登米市) 氏家 寿重 (亶理町)
高橋 まり子 (涌谷町)

高齢者交通安全ふれあい世帯訪問事業



各地区の支部長さんと袋詰め準備をしました

塩竈市の交通安全母の会は、平成15年から高齢者宅を訪問する活動に力を入れ、毎年10月から11月の2か月の期間に市内12地区の支部長が中心となり、訪問日

や活動人数等を話し合い、地区の会員が参加できるメンバーを決め、できるだけ2人ペアで訪問するようにし、笑顔で、玄関先で、短時間で、啓発用品を配布すること、特に高齢の方々には反射材の着け方を手伝ったり交通ルールやマナーについて具体的にお話しするなど、確認し合って進めるように心掛けています。

今年度も、コロナ禍やインフルエンザが流行しているの
で、参加人数を縮小しての活動となりましたが、約33人が参加し訪問件数約300件となりました。



役員は2人一組で各家庭を訪問しました

私たちの活動の
スローガンは「明るく、楽しく、健やかに」、「継続は力なり」です。訪問すると玄関先で「ご苦労さまね」と何時も笑顔で対応してくださる住民の方々の優しさに励まされ、ふれあい世帯訪問の大切さを肌で感じながら、今年も頑張ったねと訪問を終えました。

これからも、交通事故の無い安全で安心な地域社会の実現を目指し努力してまいります。

(塩竈市 佐々木和恵)

東北ブロック交通ボランティア等講習会 (秋田県)

内閣府主催の令和5年度交通ボランティア等講習会は、11月1日に秋田県のホテルメトロポリタン秋田において開催されました。3年ぶりに対面での講習会の参加となりました。宮城県からは県連合会会長佐々木和恵（塩竈市）、副会長佐々木伸子（色麻町）、副会長金澤いく子（登米市）の3人が参加しました。秋田県能代市からは「季別交通安全運動」での街頭パレード、岩手県一関市からは飲酒運転撲滅「トイレの女神様運動」、宮城県登米市からは「豊齢者（高齢者）交通安全教室」、山形県米沢市からは「ハートフルメール事業」、福島県交通安全協会からは「交通安全ふくしま5つ星作戦」について活動の紹介がありました。それぞれ地



当県からは登米市東和町の活動を紹介しました

域に密着した特色のある活動を行っており、ネーミングが目を引く各種事業は非常に興味深く、今後の自治区での取組を推進していく上で大変参考になるものでした。

(登米市 金澤いく子)

リーダー研修会

12月23日、宮城県自治会館を会場に県内各市町村の母の会会長や事務局担当者等67人が参加し、リーダー研修会が開催されました。今回は、新型コロナウイルスが5類感染症になったこともあり、昼食をはさみながら



6つのテーマに分かれてグループ討議意見交換や活動発表ができ、久しぶりに充実した研修会となりました。

研修会の内容としては、会長の挨拶後、地域交通政策課鹿間副参事から県内の交通事故発生状況などを伺い、その後「令和5年度交通ボランティア等ブロック講習会」に参加された佐々木伸子副会長から受講報告があり、グループ討議を行うという流れで実施されました。

交通事故発生状況

令和5年中の県内の交通事故発生状況は、発生件数は前年から減少しましたが、死傷者数は増加し、特に死者数は大幅な増となりました。65歳以上の高齢者の交通事故死者も19人（前年比1人増）で、交通事故死者全体に占める割合は約4割と、依然として高い割合となっています。

【交通事故発生状況】

(単位：件、人、%)

区分	発生件数	死亡事故		負傷者			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
令和5年	4,033	44	47	463	4,469	4,932	
令和4年	4,117	37	37	440	4,472	4,912	
増減	数	-84	+7	+10	+23	-3	+20
	率	-2.0	+18.9	+27.0	+5.2	-0.1	+0.4

グループ討議は「飲酒運転根絶」、「高齢者の交通事故防止（歩行者）」、「高齢者の交通事故防止（運転者A）」、「高齢者の交通事故防止（運転者B）」、「子どもの交通事故防止」、「自転車の安全利用」の6グループで行われました。



各グループの代表が討議結果を発表

どのグループも、まず各自で行っている活動を発表し合い、そこから見えてくる各種問題点等を洗い出し、それらに対する対策等を議論しながら考え発表を行いました。

発表の中で見えてきたものは、行政の力を借りなければどうしても解決できないものや、各自が各家庭や近所の人などに交通安全について何度も声を掛けることで浸透していくものもあるということです。

私たちができることについては、まさしく「交通安全は茶の間から」の精神で活動していくことが大変重要であると感じ、これからも地域でできることを継続していきたいと思いました。

(亘理町 大河原みつ子)

飲酒運転根絶啓発活動紹介

泉地区母の会は、9月22日に行われた地下鉄泉中央駅における飲酒運転根絶キャンペーンに参加しました。こちらでは、飲酒運転による交通事故の根絶を願い、泉警察署や地区安全協会、泉区役所といった関係各所の皆様とともに駅の出入口及びバスプールにてのぼり旗を掲げつつ、チラシや反射材等の啓発用品を配布しました。



地下鉄泉中央駅での飲酒運転根絶キャンペーン

また、平成17年5月22日の朝、仙台育英学園高等学校の生徒3人の尊い命が飲酒運転により奪われるという痛ましい事故が発生したことから、宮城県では毎月22日を『飲酒運転根絶運動の日』と定めていますが、その取り組みの一環として、毎月22日の朝7時30分から45分間、八乙女交差点にて奥羽自動車学校の皆様とともにのぼり旗を掲げる活動を続けています。色鮮やかなのぼり旗を



仙台市泉区八乙女交差点での啓発活動

目に留めていただき、飲酒運転は凶悪な犯罪であると再認識していただければという思いです。

これからも私たちは「継続は力なり」を合言葉に、飲酒運転根絶に向けた活動を進めてまいります。

追記 各家庭や職域におかれましても「飲酒の席へ車で向かわない、少量の飲酒でも絶対に運転をしない、させない」といった飲酒運転根絶の鍵を心に掛け、事故の無い自分に胸を張って行動してくださることを希望します。

(仙台市泉地区 鈴木サカエ)

母の会活動紹介

角田市交通安全母の会連合会

緑豊かな田園都市、角田市交通安全母の会連合会の活動について紹介させていただきます。春の交通安全運動では、5月13日に全座席シートベルト着用徹底キャンペーンを、6月9日の連合会総会では、角田警察署交通課長から講話を頂き、高齢者の死亡事故が増加していることを学びました。令和5年4月1日に自転車のヘルメット着用が努力義務化されましたが、自転車事故による死傷者の着用率はわずか6%だったそうです。自分の命を守るため、ヘルメットを着用しましょうとのことでした。秋の交通安全運動では、9月23日に道の駅かくだで、交通事故なしキャンペーン及び飲酒運転根絶&交通事故死ゼロ呼び掛け運動を実施しました。交通安全の啓発のため、ジャオジャオ（パンダの着ぐるみ）が



パンダの「ジャオジャオ」も交通安全を呼び掛け

応援に来てくれました。一緒に梨（事故無し）と啓発チラシを配布したところ、子どもたちに大人気で大いに盛り上がりました。12月4日は、連合会の移動研修を行いました。東日本高速道路管理センターを見学し、施設や業務内容の説明を頂きました。初めて知ることばかりで大変驚きました。貴重な体験になり、充実した研修会となりました。1月5日には、年始めの広報活動を行い、交通安全を呼び掛けました。1件でも、悲惨な事故が無くなることを願いながら「交通安全は、茶の間から」を合い言葉に活動していきたいと心に誓いました。（角田市 大橋かよ子）



東日本高速道路管理センターを見学しました

地区連会長からは、日頃の活動に対し御礼と励ましの言葉を述べ、続いて大衡村の母の会の伊藤美枝子会長からは、会員のコロナ感染対策をしながら交通安全週間中も運転者や歩行者への呼び掛けを実施するなど、大和警察署の指導を受けながら、運転者や歩行者への呼び掛け活動を実施したこと。特に高齢者への訪問活動にも力を入れ、事故に遭わず無事帰るようにと手作りのマスコットを配布するなど、活動を展開していることにも触れ、大変うれしく感謝の気持ちが伝えられました。



仙台地区連佐々木会長の挨拶



大和警察署交通課中田氏による交通安全講話

続いての研修会では、大和警察署交通課中田拓見氏による「交通安全について」の講話に入りました。

大和町での交通事故や死者数の中で、特に冬の路面凍結、飲酒による交通安全講話 酒運転の事故などを挙げ、国道457号線の車の多い路上での死亡事故の原因やバイクの事故の原因についてお話を頂き、併せて宮城県の交通情勢についても触れ、心に残る充実した研修会となりました。最後は、仙台地区連絡協議会の斉藤基子理事の閉会の挨拶で研修会を無事終了しました。

（地区連会長 佐々木和恵）

地区連協議会活動紹介

仙台地区連絡協議会

11月8日、大衡村の平林会館3階大集会室で仙台地区の研修会を開催しました。

コロナ禍で参加者は少なく心配しましたが、大衡村の会員の方々がお揃いのスタッフジャンパーを着用し笑顔で迎えてくれました。

仙南地区連絡協議会

10月12日、角田市市民センターにて当協議会の研修会を開催しました。研修会では角田警察署交通課長にお越しいただき、最近の交通情勢について講話を頂きました。講話の中では例年に比べて死亡



啓発活動の様子

事故が増加しており、特に高齢者の交通安全対策が大切で、交差点での出会い頭の事故や安全不確認による事故、右から左へ横断する歩行者との事故が多いとのこと、**「かもしれない運転」**を意識して運転を行うとよいとのことでした。運転について気を付けることを呼び掛ける**「ララ運動（ライトオン・ライトアップ・ライトケアフル）」**という運動があるので広めていきたいと思います。



啓発活動集合写真

11月7日には大河原町のシーズンウォーク「フォルテ」にて、街頭啓発活動を開催し

***** 春の交通安全県民総ぐるみ運動 *****

期 間 令和6年4月6日(土)から4月15日(月)までの10日間

交通事故死ゼロを目指す日 4月10日(水)

- 運動の重点
- ① こどもが安全に通行できる道路交通環境の確保と安全な横断方法の実践
 - ② 歩行者優先意識の徹底と「思いやり・ゆずり合い」運転の励行
 - ③ 自転車・電動キックボード等利用時のヘルメット着用と交通ルールの遵守



ました。大河原警察署交通課長にもご協力いただき、買い物客に向けて反射材エコバックなどの啓発品を配布し、夕暮れ時や車線逸脱による事故の防止を呼び掛け、充実した活動となりました。

今年の活動は、コロナ禍が明け、人の移動も多くなり、啓発する機会が増えるので、事故の無い安心して過ごせる社会になるよう、引き続き各種啓発活動に取り組みたいと思います。
(七ヶ宿町 田村久子)

大崎・栗原地区連絡協議会

大崎・栗原地区連絡協議会では、11月22日、栗原市のこの花さくや姫プラザを会場に研修会を開催し、112人の会員が参加しました。

研修会では、若柳警察署阿部交通課長から最近の交通情勢や高齢者交通安全対策について講話を頂き、夕暮れ時や夜間の事故防止、冬道の注意点を再確認しました。

次に栗原市交通安全母の会の活動事例発表がありました。二十歳を祝う会会場、大型店や街頭での飲酒運転根絶キャンペーン、お盆の帰省客への交通安全啓発活動や交差点での街頭指導など、各地区の活動が紹介されました。

研修後は、アトラクションとして若柳支部のダンスと鶯沢支部のすずめ踊りが披露され、楽しくて元気の出る発表でした。

あらためて日頃からゆとりを持って行動することで安全運転に注意すること、また母の会の皆さんとの交流を通して地道に交通安全の啓発活動をしていく大切さを感じた研修会でした。
(加美町 木村和子)

登米・本吉地区連絡協議会

10月23日に、登米市長、登米警察署長に同席いただき、米川地区、交通死亡事故ゼロ、2500日達成表彰式が行われました。冒頭、市長、警察署長から、長きにわたる交通安全活動への協力に労いの言葉がありました。

米川地区は大変のどかな地域であり、事件や事故とは無縁であると思われていますが、近年は事件も事故も多様化しており、私達の周りも変化しています。生活の面では、車は一人、一台。病院も、買い物も、隣りの家に行くのも、車を

利用しなければ、全てが成り立たない地域です。そんな地域で、7年近くも死亡事故ゼロを達成したことは本当に頭の下がる思いです。

交通事故は人災です。信号機の無い横断歩道での一時停止。自転車のヘルメット。一人一人のマナーが今以上に向上し、一件でも事故が減ることを願います。

私達の出来ることはそんなに多くはありません。でも、一人一人の心掛けと今より少し交通安全を心掛けること。一歩ずつ、コツコツ。「交通安全は茶の間から」

(東和町 熊谷安子)



米川地区交通死亡事故ゼロ2500日達成表彰式 出席者とともに (筆者後段中央)

石巻地区連絡協議会

石巻市交通安全母の会では、令和5年度も交通事故を減らすために、様々な活動を行ってきました。

近年、高齢化の進展に伴い高齢者・高齢運転者の交通事故が増加していることから、6月から市内の高齢者世帯を訪問し、チラシ入りマスクを配布して交通安全の呼び掛けを行い、9月の宮城県秋の交通安全県民総ぐるみ運動期間には、警察や交通安全協会とコラボして、啓発活動を行いました。

また、毎月1のつく日には、通学路で交通量が多い交差点や小学校周辺の交差点に立ち、園児・児童が安全に通学できるよう、黄色い旗を持って交通安全の声掛け、見守り活動を実施しています。



黄色い旗を持って交通安全の声掛け、見守り活動

交通事故は、被害者や加害者のみならず、その家族までも一瞬にして不幸にするものです。私達は、「交通安全は茶の間から」を合言葉に、家庭や地域における交通安全思想の普及・啓発を通じて、交通事故の無い安全で安心して暮らせる明るい社会を目指して、引き続き活動していきたいと思っています。

(石巻市 堀川恵美子)



警察や交通安全協会とコラボした啓発活動



若柳支部のダンス披露



鶯沢支部のすずめ踊り披露

第31回 あなたもチャレンジ！無事故無違反

セーフティ123

あなたもチャレンジ！無事故無違反「セーフティ123」は、3人チームで参加し、123日間の無事故無違反を目指し、交通安全意識の向上を図ることを目的に実施しているキャンペーンです。

無事故無違反達成チームには、抽選で素敵な賞品が当たりますので、職場の仲間、家族、友達、ご近所さん等でふるって参加しましょう。

- 募集期間 令和6年5月1日～令和6年6月14日
- チャレンジ期間 令和6年6月15日～令和6年10月15日 (123日間)



お問い合わせ みやぎ交通安全啓発・実践キャンペーン実行委員会事務局 (宮城県企画部地域交通政策課内)
TEL: 022-211-2438